

通信方式講習内容詳細（2018年度）

★必修領域（6時間分）－選択必修領域のいずれかと併せての受講が必要です。

C1～C9 共通 蘇る教師のための教育の最新事情（全教諭対象）

「教員としての子ども観、教育観等についての省察」、「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」、「子どもの生活の変化を踏まえた課題」、「世界の教育改革の動向」の事項を中心に通信教育により講習を行い、教員にとって必要とされる共通の最新知識・技能を習得する。

★選択必修領域（6時間分）－必修領域と併せての受講が必要です。

C1 教育委員会制度の改定（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭対象）

平成26年に改正された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」によって、教育委員会制度が大きく変わった。本講習では、今回の改定の趣旨を明らかにするとともに、具体的な変更点について学習する。

C2 学習指導要領の改訂（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭対象）

学習指導要領の変遷について概観するとともに、平成28年度から平成29年度にかけて告示された学習指導要領の特徴を学習する。特に、カリキュラム・マネジメントや主体的・対話的な深い学びといった新しい概念について学習する。

C3 学校を巡る近年の状況の変化（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭対象）

学校を巡る近年の状況の変化について、「いじめ」と「不登校」に焦点を当てて検討する。近年、保護者の学校への関心が大きく、その接点となっているのが暴力行為、いじめ、不登校といった問題だからである。

C4 学校における危機管理と防災（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭対象）

学校における危機管理を行うために、平素から準備しておくことを述べる。また、不幸にも事故や事件が起きてしまったときに、どういった対応をとればいいのか考えていく。

C5 ICTと教育（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭対象）

教育の情報化について概観するとともに、今後求められる教育の情報化について、特に「ICTを活用した指導」と「情報教育」に焦点をあてて学習する。

C6 小学校の英語教育の新展開（小学校教諭対象）

小学校英語教育の早期化・高度化が示されている中で、英語教育を担当する教員の英語力・英語指導力をどのように高めていくかを考えていく。

C7 道徳教育の動向と課題（小学校・中学校・特別支援学校教諭対象）

平成 27 年の学習指導要領の改訂に伴い、道徳が教科化された。それによって、どのような変化が起こったのか、また指導方法はどのように工夫されたのかについて考えていきたい。

C8 中学校・高等学校の英語教育の新展開（中学校・高等学校教諭対象）

小学校英語教育の刷新は、必然的に中学校・高等学校の英語教育の高度化・高質化を誘発する。このような流れの中で、中学校・高等学校の英語教育はどうあるべきかを考えていく。

C9 ICT 教育の実際と課題（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭対象）

ICT を活用した授業の実践について、具体例を使って解説する。そして、その際に課題になること、今後の動向についても考えていきたい。

★選択領域（いずれも 1 講座 6 時間分<3 講座 18 時間で修了となります>）

※「養護教諭」「栄養教諭」は選択領域の受講はできません。ご了承ください。

D1 教育委員会制度の改定（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭対象）

※選択必修で C1 を受講される方は選択できません

平成 26 年に改正された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」によって、教育委員会制度が大きく変わった。本講習では、今回の改定の趣旨を明らかにするとともに、具体的な変更点について学習する。

D2 学習指導要領の改訂（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭対象）

※選択必修で C2 を受講される方は選択できません

学習指導要領の変遷について概観するとともに、平成 28 年度から平成 29 年度にかけて告示された学習指導要領の特徴を学習する。特に、カリキュラム・マネジメントや主体的・対話的な深い学びといった新しい概念について学習する。

D3 学校を巡る近年の状況の変化（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭対象）

※選択必修で C3 を受講される方は選択できません

学校を巡る近年の状況の変化について、「いじめ」と「不登校」に焦点を当てて検討する。近年、保護者の学校への関心が大きく、その接点となっているのが暴力行為、いじめ、不登

校といった問題だからである。

D4 学校における危機管理と防災（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭対象） ※選択必修で C4 を受講される方は選択できません

学校における危機管理を行うために、平素から準備しておくことを述べる。また、不幸にも事故や事件が起きてしまったときに、どういう対応をとればいいのか考えていく。

D5 ICT と教育（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭対象）

※選択必修で C5 を受講される方は選択できません

教育の情報化について概観するとともに、今後求められる教育の情報化について、特に「ICT を活用した指導」と「情報教育」に焦点をあてて学習する。

D6 小学校の英語教育の新展開（小学校教諭対象）

※選択必修で C6 を受講される方は選択できません

小学校英語教育の早期化・高度化が示されている中で、英語教育を担当する教員の英語力・英語指導力をどのように高めていくかを考えていく。

D7 道徳教育の動向と課題（小学校・中学校・特別支援学校教諭対象）

※選択必修で C7 を受講される方は選択できません

平成 27 年の学習指導要領の改訂に伴い、道徳が教科化された。それによって、どのような変化が起こったのか、また指導方法はどのように工夫されたのかについて考えていきたい。

D8 中学校・高等学校の英語教育の新展開（中学校・高等学校教諭対象）

※選択必修で C8 を受講される方は選択できません

小学校英語教育の刷新は、必然的に中学校・高等学校の英語教育の高度化・高質化を誘発する。このような流れの中で、中学校・高等学校の英語教育はどうあるべきかを考えていく。

D9 ICT 教育の実際と課題（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭対象）

※選択必修で C9 を受講される方は選択できません

ICT を活用した授業の実践について、具体例を使って解説する。そして、その際に課題になること、今後の動向についても考えていきたい。

D10 これからの人権教育（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭対象）

これからの人権教育を考える時に必要な概念として、人権感覚を身につける時期を考慮し、いかにしてそれを修得していくかを具体的に述べる。

D11 小学校の生活科の新たな展開（幼稚園・小学校教諭対象）

子どもの生活をベースにした「生活科」の学習活動をさらに発展させるため、幼稚園・保育所と小学校の教育内容・方法の連続性・一貫性について考えていく。

D12 グローバル・リスク社会と国際理解・グローバル教育（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭対象）

グローバル社会が進展する中で、新しいタイプのリスク（グローバル・リスク）が増加しており、これまで学校で行ってきた国際理解教育では対応できなくなっている。「地球人・地球市民教育」という観点を取り入れた国際理解教育を行う必要がある。

D13 インドシナ定住難民の就学経験と教育支援システムづくりの重要性（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭対象）

インドシナ定住難民の就学支援の現状を述べるとともに、学校や地域のサポートの重要性について考えていく。そして、サポートのシステム化が、今後のマイノリティの受け入れの鍵となる。

D14 総合的な学習の時間（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭対象）

2000年に導入された「総合的な学習の時間」であるが、うまく機能しているとは言い難い現状がある。もう一度、その意義や目標、内容等を原点に立ち返って考えてみる必要がある。

D15 高大連携を視野に入れた高等学校改革（高等学校教諭対象）

高等学校の改革の状況について、大学改革及び大学入学者選抜の改革と併せたいわゆる三位一体改革の観点から、進むべき方向性を考えていく。

D16 これからの生涯学習（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭対象）

「生涯学習時代」と言われるようになって、既に久しい。ところで、教師にとっての生涯学習とは、そもそも何であろうか。これはなかなか難しいが、重要な問いであると思う。また子どもたちにとっての生涯学習は、どのようにあるべきなのだろうか。本講座では、学校教育において生涯学習という長期的視野に立って人間形成を行うことの重要性を改めて考えるとともに、その後の教育活動を行なう中での様々な問題や今後の方向性について考えるための視点を提示したい。

D17 特別支援教育の現状と課題（特別支援学校教諭）

特別支援教育への転換の背景を述べるとともに、更なる充実に向けての課題を考える。また、新しい学習指導要領で示されている留意事項について解説を行う。

D18 個性化教育にみる教育方法の多様性（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭対象）

個性化教育における教育方法の特徴は、授業を構成しているさまざまな枠組みを固定せず多様化することによって、子ども一人ひとりの個性に応じる教育を実現することにある。本講義では、何をどう多様化するのかについて考えていく。

D19 教師教育とは何か、どうあるべきか（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭対象）

教師教育はどうあるべきかを議論するとき、理想の教師像をどう描くかに大きく関連している。世間の人々が評価する教師と行政が評価する教師は、必ずしも一致していない。本講習では、優れた教師はどういうふうにして出来上がったのかを考えることにより、教師教育の課題を考えていく。

D20 教師教育とメンタリング（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭対象）

メンタリングとは、人の育成、指導方法の一つである。専門職者としての教師は、教師教育の段階で、このメンタリングの理論や方法を体験すべきである。

D21 子どもの学びを支えるへき地・複式教育（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭対象）

複式学級の指導方法は、単式学級のそれを踏襲していることが多く、子どもにとっても、教師にとっても満足いくものではなかった。子どもが少ないということの欠点を補う工夫だけではなく、子どもが少ないということを利用して教育計画をしていくことの重要性、へき地という環境を生かした教育活動へのヒントをつかんでほしい。

D22 幼児教育史から見た幼児教育の今日的課題（幼稚園教諭）

幼児教育の今日的課題として、歴史的な観点から考えていきたい。①幼保一元化、②幼児教育の無償化、③長時間保育、④保育職の専門性、⑤教育格差、について取り上げる。

D23 これから求められる幼児教育（幼稚園教諭）

幼児教育を取り巻く世界的な流れを述べるとともに、新しい幼稚園教育要領で求められている資質・能力について考える。それを踏まえて、今後の幼児教育のあり方について説明する。